



IIXIL

本体ストッパー

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。

■取付け上のお願ひ

- 本体ストッパーの取付けは、必ず本体建付け調整後に行ってください。
- クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ず本体ストッパーの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。

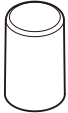
■部品・部材の明細

■本体ストッパー×1

■丸座×1個

■丸座固定ねじ

■アウトセット引戸(自閉機能)床固定用部品



用途	名称	入数
引違い戸/受付窓用	皿タッピンねじφ4×25	3
アウトセット引戸床固定用	皿タッピンねじφ4×30	3
アウトセット引戸壁固定用	皿タッピンねじφ4×60	3

名称	入数
ワッシャー	5
★コンクリートプラグ	3

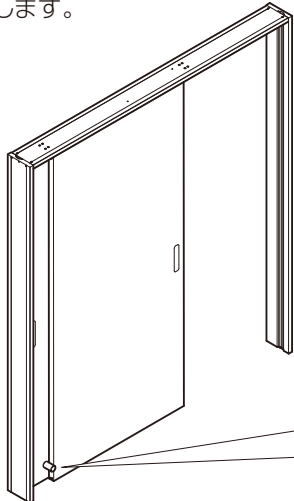
※本体ストッパーは、丸座に取付けされた状態で同梱されています。

※★の部品はコンクリート下地取付けの場合にのみ使用します。

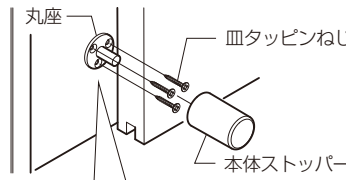
■取付け順序

1 引違い戸本体/受付窓の場合

- ①部品を取付ける側を決めてください。
- ※外観に支障のない側への取付けをおすすめします。



②下図のように丸座を取付け、丸座に本体ストッパーを取付けてください。



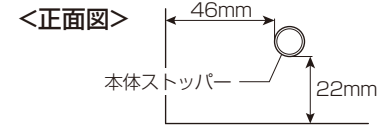
●引違い戸の場合

丸座の端部を本体戸尻に合わせ、本体下端から22mmの位置に固定してください。



●受付窓の場合

本体左端から46mm、本体下端から22mmの位置に固定してください。



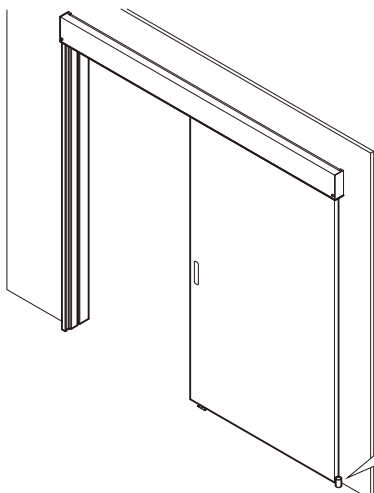
2 アウトセット引戸(自閉機能)の場合

●床固定の場合

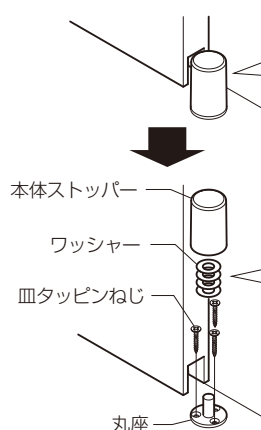
○お願ひ

- ※クッションフロアや弾性がある床に施工する場合は、必ず本体ストッパーの下に合板などの下地材を入れてください。開閉に支障をきたす原因になります。
- ※コンクリート下地に取付ける場合は、同梱のコンクリートプラグを使用してください。(下穴φ7×35mm以上)

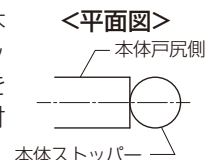
①本体を全開状態にしてください。



②下図のように丸座を取付け、必要数ワッシャーを挿入の上、本体ストッパーを取付けてください。



本体ストッパーの端部を本体戸尻側に当て、本体ストッパーと本体厚み方向中心を合わせて位置出しの上、取付けてください。



本体サイズとワッシャーの必要数

本体サイズ	必要数
768 ≤DW< 900	1
900 ≤DW< 1000	2
1000 ≤DW< 1100	3
1100 ≤DW< 1200	4
1200 ≤DW≤ 1368	5

●壁固定の場合

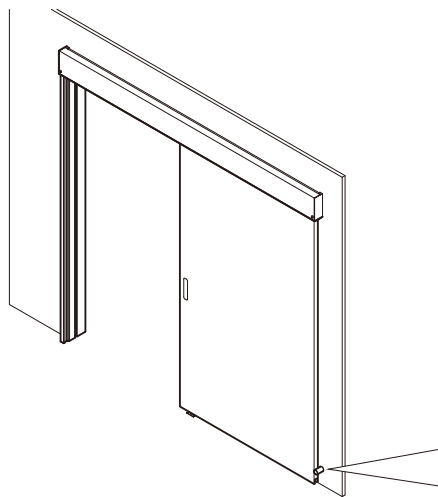
お願い

※本体ストッパー取付け位置に、厚さ45mm以上の木下地が入っていることを確認してください。開閉に支障をきたす原因になります。

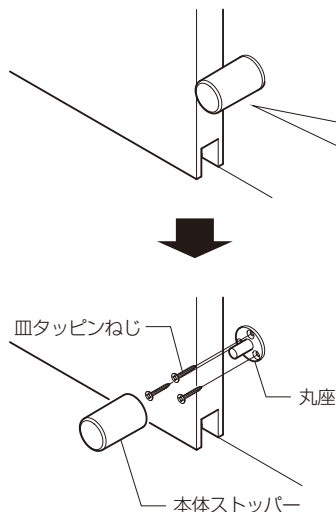
※同梱の丸座固定ねじは、石膏ボード厚12.5mmの1枚貼りの納まりに対応しています。

それ以外の場合は、下地材に対してねじの掛かり代が45mm以上となるよう、ねじを現場手配の上、取付けてください。

①本体を全開状態にしてください。

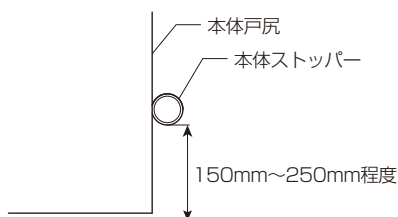


②下図のように位置合わせを行い、本体ストッパーを取付けてください。



本体ストッパーの端部を本体戸尻に当て、床面から150~250mmの高さを目安に幅木を避けて位置出しの上、取付けてください。

<正面図>



③アウトセット引戸(ソフトモーション機能)の場合

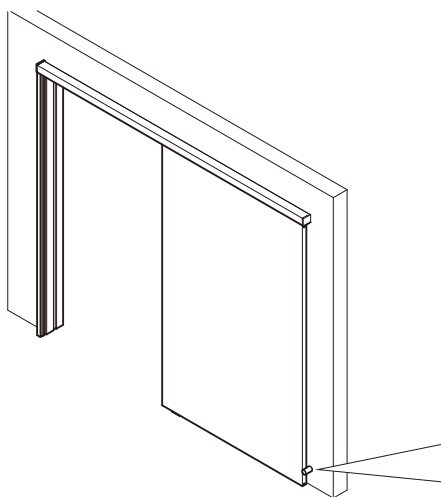
お願い

※本体ストッパー取付け位置に、厚さ45mm以上の木下地が入っていることを確認してください。開閉に支障をきたす原因になります。

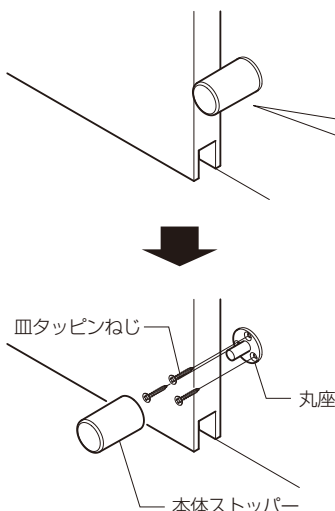
※同梱の丸座固定ねじは、石膏ボード厚12.5mmの1枚貼りの納まりに対応しています。

それ以外の場合は、下地材に対してねじの掛かり代が45mm以上となるよう、ねじを現場手配の上、取付けてください。

①本体を全開状態にしてください。



②下図のように丸座を取付け、本体ストッパーを取付けてください。



本体ストッパーの端部を本体戸尻に当て、床面から150~250mmの高さを目安に幅木を避けて位置出しの上、取付けてください。

<正面図>

